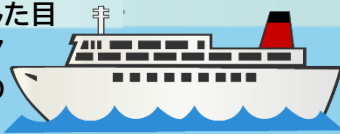


掴め君の未来を！

令和5年夏休み号

慶進中学校・高等学校
進路部
令和5年7月20日発行

3年生は、三者面談を経て志望校が確定し、これからやるべきことがはっきり定まりますね。期末試験後からすでに「夏休みの学習計画」を立案し、実行していることだと思います。自分に言い訳をしてできないことを正当化するのではなく、最大限の努力を継続して、自らがやるべきことに邁進してください。学校全体で応援しています！1・2年生は7月進研模試の成果はいかがでしょう。模試の出来を踏まえて、1・2年生も「夏休みの学習計画」を立てましょう。「夏休みの学習計画」を立案する際には、いつまで何をするかなど具体的な計画にすることが大切です。2年生の7月模試から志望校集計がスタートします。志望校があることで学習計画もより具体的になります。進路に関する漠然とした目標を、志望校という具体的なものに変えるきっかけにしましょう。また、1年生の7月模試は自分の学力を把握し、高校生としての学習習慣を定着させるためのものです。国数英の学力を全国と比較することで自分の立ち位置を認識しましょう。



●大学入試トピックス ～国立大学2024年度入試の変更点

(旺文社教育情報センターの記事より抜粋)

※各大学が6～7月に発表する「選抜要項」、10～12月に発表する「募集要項」などで、必ず内容を確認してください。

- ①**学校推薦型・総合型選抜の変更**…理系で女子枠設置の動きが目立つ。東京工業大で4学院(物質理工、情報理工、生命理工、環境・社会理工)で推薦型・総合型に女子枠を新設。また、北見工業大-工の総合型と、名古屋工大-工の共テ免除推薦型で女子枠を新設。その他、山梨大-工で共テ免除推薦型を、鹿児島大-農で共テを課す推薦型を、兵庫教育大-学校教育で共テ免除総合型を新規実施。
- ②**新增設・改組**…理系、特に情報科学系学部の新増設が目立つ。国立大では、茨城大-地域未来共創学環、宇都宮大-データサイエンス経営、お茶の水女子大-共創工、熊本大-情報融合学環が新設予定。特に、お茶の水女子大の工学系新設は、女子枠を設置する熊本大-情報融合学環とともに、理系女子の門戸拡大といえる。公立大では、京都府立大-生命環境を再編、農学食科学・生命理工情報・環境科学の3学部を開設予定。また、周南公立大-経済・福祉情報も3学部(経済経営・人間健康科学・情報科学)に改組される。さらに、富山県立大-情報工、下関市立大-データサイエンス、高知工科大-データ&イノベーション学群も新設予定だ。この他、入学後に専門分野を決める、募集単位の「大括り化」も注目される。山梨大-工で「7→1学科(7コースと総合工学枠)」に改組予定。総合工学枠では、入学後は「総合工学クラス」に所属し、2年次から各専門コースに進む。
- ③**日程・募集人員の変更**…一般選抜の日程変更では、埼玉県立大で後期を募集停止する一方、埼玉大-教育は後期を新規実施。新設予定の熊本大-情報融合学環は前期のみで実施予定だ。募集人員では、東京工業大が推薦型・総合型の女子枠新設に伴い、4学院で前期の募集人員を削減。また、千葉大-園芸で前期を増やし後期を削減する一方、神戸大-工では前期を削減し、後期を増加する。

●いよいよ動き始める入試～総合型選抜、学校推薦型選抜

9月から、総合型選抜の出願が始まります。総合型選抜とは、受験生からの提出書類のほか、面接や論文、プレゼンテーションなどを課し、受験生の能力・適性や学習に対する意欲などを、時間をかけて総合的に評価する入試方式です。他の入試方式に比べると、出願時に受験生自身が作成して提出する書類が多いことも特徴です。国立大学の総合型選抜では、1次:書類審査、2次:面接(プレゼンテーションも含む)・小論文といった選抜型タイプが一般的です。また、共通テストを課す大学は増加傾向にあります。資料1のように、共テを課さない総合型選抜は、出願が9月に入ってから始まる大学が多いです。「志望理由書」や「自己PR書」などの提出書類を早めに完成させましょう。

また、学校推薦型選抜の校内選考が9月に行われます。学校推薦型選抜の校内選考の日程を、資料2で示しています。詳細は4月に配布した保護者宛文書で発表していますので、必ずそちらで確認してください。

資料1 近隣大学の総合型選抜(共テを課さない方式)の日程

大学名	出願期間	試験日	合格発表日
山口大	9/1～9/5	9/27～29	11/1
山口東京理科大	9/1～9/7	9/30	11/1
北九州市立大	9/1～9/7	(一次)9/23	11/1

※各大学の募集要項で最終確認してください。

資料2 学校推薦型選抜の校内選考日程

8月1日(火):推薦希望調査票 提出締切
 8月下旬:国立大学推薦希望者学校面接
 8月31日(木)・9月1日(金):実力テスト5教科(ベネッセ9月模試と同範囲)
 9月1日(金):漢字・英単語テスト【短大・専門学校の指定校推薦希望者】
 9月4日(月)～15日(金):指定校・姉妹校推薦の校内選考
 (大学)○実力テスト300点分(※実力テストの点数には基準点あり)
 ○調査書100点 ○競合の場合のみ、学校面接50点
 (短大・専門学校)○テスト200点(漢字・英単語) ○調査書100点
 以上の総合評価で選考
 ※ 国立大学の推薦希望者は、出願人数に制限があり競合した場合のみ実力テストの得点を選考に用いる。
 9月19日(火)校内選考結果発表
 9月25日(月)指定校第2回進路希望調査票提出(第1回選考で未決定の大学のみ)
 9月29日(金)校内選考結果発表(早まる場合もある)
 以後、希望者のいない大学への希望については先着順で校内選考する

●地元大学説明会を実施しました

姉妹校を含む地元の大学の先生をお招きし、校内説明会を実施しました。この説明会は、山口県内の様々な大学の魅力を生徒に伝え、自らの進路選択を考える取り組みとして、「地元大学研究会」主催で実施しています。各大学の説明会には多くの生徒が参加し、各大学の学部・学科の概要や入試制度などの説明を聞きました。2学期は地元の教員を招いて、校内で出前講義を行います。



●先輩の合格体験記 共テを課さない総合型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

和歌山大学観光学部 (中高一貫コース卒業)	山口大学工学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学経済学部 (グローバルコース卒業)
【後輩へのメッセージ】 総合型受験生にとって、高3よりも高1, 2での成績が重要です。ですので、高1から定期試験、模試に全力で取り組んでください。 【学校生活で頑張ったこと】 このスペースに書ききれないほどに「ディベート部」の活動に、自分の全てを尽くしてきました。身に付いたスキル・学びの多さや試合での実績は、本当に役立つものばかりだと思えます。私は、プレゼンの際に大変役立ちました。また、「エコノミクス甲子園」の全国大会に出場し、新たな「知」を得たことも良い経験になったと考えています。 【受験勉強を通して良かったこと】 自分は中3の頃から和入に入るために逆算して生きてきました。落とされたら大学にセンスがないと思うようにしていました。この気持ちを持ったまま入試にのぞめたことが、メンタル面で良かったと思います。	【後輩へのメッセージ】 総合型選抜は、「今まで経験したことや自分の将来の目標」について、自分の言葉で話すことが大事な受験です。話すことが苦手な人も、練習と対策をすれば意外となんとかなります。大事なのは自分の好きなことややりたいことを見つけることです。 【学校生活で頑張ったこと】 情報処理部に所属し、プログラミングやプロジェクトマップを頑張りました。また、2年次には外部活動である「やまぐちデータサイエンスコンテスト」に参加しました。仲間と役割分担をし、アイデアを出し合いながら課題に取り組むこれらの活動は、面接でのアピールポイントとなりました。他にも、地元大学研究会に所属し、自分に関係のあるある分野の「大学教員による出前講義」に参加したり、志望大学に通うOBに会ってアドバイスをもらったりしました。	【後輩へのメッセージ】 まずは自己分析をやってください。自分の好きなことや将来の夢と、学びたいこととの関係性などが分かってきます。私は地元で貢献したいという思いから、志望大学を決定しました。また、地元大学研究会に入り、担当の先生と面接練習や小論文添削、グループディスカッションの練習に励みました。また志望大学に通っている慶進のOGと話をする機会があったり、大学教授の講義を聴いて講義等理解力試験の練習ができました。 【校外活動で頑張ったこと】 郷勤ネットや地域のボランティア活動に積極的に参加して、様々な経験を積みました。特に地域活性化のための活動(地域の企業を学校に招いてスイーツを販売するイベントなど)に力を入れました。これらの経験から、創造力が身につきました。

●夏の自主学習計画(1・2年生)

(ベネッセ「ハイスクールオンライン」の記事をもとに作成)

夏休み中に、学校の課題や自分の弱点克服に取り組むために、学習計画を立てましょう。事前にしっかりと計画を立てておくことが、休暇中にスムーズに学習を進めるためには重要です。以下に、学習計画を立てる際のポイントと自主学習時間の活用術をまとめています。

<学習計画を立てる際のポイント>

- ①**無理のない計画を立てる**…学習内容を確実に理解するためにも、無理のない計画を立てるようにしましょう。予定通りに進まなかった場合に備えて、1週間のうち1日はお休みの日をつくるなど、計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。
- ②**学校の課題に最優先で取り組む**…まずは、夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことが、復習につながります。
- ③**苦手分野の復習に取り組む**…まとまった学習時間をつくり、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと思うところがある人は、問題集の基本問題から取り組むなどして、ぜひ復習に取り組んでみましょう。
- ④**毎日の学習記録をつける**…何時間学習したか、計画通りに取り組めたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることと、計画通りに進んでいなくても、軌道修正を行うことができます。
- ⑤**時期を区切って学習計画を立てる**…この時期に効率的に学習を行うために、夏の時期を、①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬の4つの時期に分け、それぞれの時期に、「いつ」「何を」するのかを考え、優先順位をつけて取り組みましょう

<自主学習時間の活用術>

- ①**「生活の3点」と「学習開始時間」を固定する**…「起床」「夕食」「就寝」の時間と学習開始時間を固定して、規則正しい生活を心がけましょう。
- ②**まとまった学習時間をつくる**…問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。
- ③**休日の時間を有効利用する**…平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を利用して取り戻せます。
- ④**自習室を活用する**…1日24時間、同じ環境だけで勉強していると、集中力が切れてしまうことがあります。そのため、学校のスタディールームや外部の自習室など場所を変えて勉強する時間を効果的に取り入れることをおススメします。自習室では他の高校生も勉強していますから、「あの人が頑張っているから自分も頑張ろう」という団体戦の意識が芽生えます。
- ⑤**受け身の姿勢で夏期課外を受講しない**…夏休みに大切にすべきことは、自分に必要なことや足りないことに自ら主体的に取り組む勉強です。

8月の進学スケジュール

7月26日(水)～8月2日(水) 夏期課外【前半】
 1日(火) 高校登校日
 第2回進路希望調査票提出(Ⅲ)
 2日(水)・3日(木) 全統共通テスト模試(Ⅲ希)
 18日(金) 面接マナー講座(Ⅲ希)
 21日(月)・22日(火) 全統記述模試(Ⅲ希)
 21日(月)～25日(金) 夏期課外【後半】
 21日(月)～29日(火) 推薦入試校内選考 学校面接
 24日(木)・25日(金) 勉強合宿代替行事(ⅡA)
 28日(月) 始業式
 31日(木)・9月1日(金) 実力テスト(Ⅲ)